
SRU/SRW検索

SRU/SRW検索を有効にするには、次の役職が必要です：

- 統括システム管理者

Almaを使用することによって、所属の機関はSRU/SRW検索に開かれ、Almaリポジトリを検索しようとする外部システムとの統合が可能になります。（SRU/SRWは、URL/Webサービスを介した検索のための、XMLベースのプロトコルです。）この機能を有効にするには、各機関が独自のSRUサーバー統合プロファイルを定義および有効化し、SRUクエリへの応答で利用可否情報を返すかどうかを示す必要があります。

Note

SRU（URLによる検索/取得）を使用して外部検索を実行し、10,000以上のレコードを取得しようとする、Almaは10,000の制限を超えた後のレコードを一括取得するときにエラーメッセージで応答します。SRU統合は、図書館間の貸与、目録コピー、および選択を可能にするために、Alma検索を他の自動システムと統合することを目的としています。レコードの一括エクスポートの実行など、他のワークフローでのSRU統合の使用はサポートされていません。

SRUリクエストの実行の詳細については、[Alma デイベロッパーネットワーク]の以下のページを参照してください：

- [SRU](#)
- [SRUを設定し、SRU検索クエリを設定する方法](#)

SRUサーバータイプ統合プロファイルの設定

各機関ごとに、SRUサーバー統合プロファイルは1つのみ存在できます。

機関のSRUサーバー統合プロファイルを設定するには：

1. 統合プロファイルリストページ（設定メニュー>一般>外部システム>統合プロファイル）で、統合プロファイルを追加を選択します。外部システムウィザードのページ1が開きます。
2. 新しい統合タイプに固有のコードを入力します。
3. 新しい統合タイプの固有の名前を入力します。
4. 統合タイプには、**SRU**サーバーを選択します。

Note

この統合タイプでは、デフォルトのチェックボックスは機能しません。

5. 次を選択します。
6. 以下の表のパラメータの説明を使用して、SRU統合プロファイルを設定します。

SRU統合プロファイルの設定

パラメータ	説明
書誌事項オプション	
アクティブ	書誌事項オプションを有効にするには、このパラメータを選択します。
利用可否を追加	AVA（冊子の利用可否）、AVE（電子版の利用可否）、およびAVD（デジタルの利用可否）フィールドに格納されている利用可否情報をSRUクエリのリクエストへの応答に含めるかどうか。詳細については、 書誌APIの取得 を参照してください。
ネットワークで管理されている電子リソースの結果を含める	<p>このチェックボックスは、ネットワークゾーンのメンバーのみが使用できます。</p> <p>このオプションが有効になっている場合、SRUプロトコルを使用して機関ゾーン保持ルックアップを実行すると、結果には次のものが含まれます：</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の目録や他の存在するエンティティに関係のない機関ゾーンの書誌レコード、 活動化ステータスに関係のない機関ゾーンの書誌レコード：コレクションまたはポートフォリオに「有効化」、 メンバーの所有する所属機関が「グループで利用可能」であるポートフォリオまたは電子コレクションに属するネットワークゾーンの書誌レコード。 <p>SRU 統合プロファイルの設定がネットワークによって行われ、すべてのメンバーに配布されるコンソーシアムでは、SRU 統合プロファイルは「ネットワークで管理」としてマークされます。この場合、このオプションはネットワークゾーン 機関でも表示されます。ネットワークは、このオプションが有効もしくは無効にした状態で、このプロファイル をメンバーに配布するかどうかを決定することができます。このプロファイルを使用するメンバーは、ネットワーク設定を編集することにより、ローカルでプロファイルをオプトアウトおよび管理することを決定できます（ネットワークからのリンク解除を参照）。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>SRU サーバーがMMS IDを受信する際、識別子の発信元が機関ゾーンか ネットワークゾーンかはわかりません。したがって、MMS IDで検索する場合は、2つの検索を行う必要があります。1つは 機関ゾーンで、もう1つはネットワークゾーンで行います：</p> <ul style="list-style-type: none"> 機関ゾーンMMS IDは、機関ゾーン電子インベントリを取得します。 ネットワークゾーンMMS IDは、ネットワークゾーンの電子目録を取得します。
メンバーの（ネットワークゾーンでの）利用可否で強化	<p>ネットワーク機関がSRUプロトコルを使用して検索を完了するとき、ネットワークの各メンバーの所蔵利用可否を取得するかどうか。</p> <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> SRU/SRWでは、Dublin Core（Simple DC およびQualified DC）フォーマットと、すべてのMARCスキーマ（UNIMARCおよびCNMARCを含む）がサポートされています。次の相互変換がサポートされています： <ul style="list-style-type: none"> Dublin CoreおよびMARCXMLから他のすべてのフォーマット（ダブリンコア、MARCXML、CNMARCXML、KORMARCXML、およびUNIMARCXML） すべてのフォーマット（Dublin Core、MARCXML、CNMARCXML、KORMARCXML、およびUNIMARCXML）からDublin Core およびMARCXMLへ。

パラメータ	説明
	<p>CNMARXML、KORMARXML、およびUNIMARXML間の相互変換はサポートされていません。</p> <p>元のレコードのフォーマットからリクエストされたフォーマットへの変換が利用できない場合、Almaは元のレコードを返却します。詳細については、ディベロッパーネットワークを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表のあるDublin Coreレコードの場合、DC識別子フィールドに各代表のURLが追加されます。 <hr/> <p>MARXMLの場合、所蔵の利用可否の表示は、次のMARXMLフォーマットを使用して処理されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> MARC852フィールド \$a 場所 - 機関コード \$6 リンケージ - MMS ID \$9 ローカルフィールド - P (印刷) / E (電子) / D (デジタル) <p>印刷物や電子ファイルなど、1つの機関で複数の資料タイプが利用可能な場合、852フィールドには複数の\$9エントリが含まれます。</p>
代表情報を追加	非リモート代表情報を外部システムに公開するかどうか。
リモート表記情報を追加	リモート代表情報を外部システムに公開するかどうか。
正規化を適用	<p>追加の強化を行う前、またはZ39.50の要求で外部システムへの公開がされる前にAlma書誌レコードを正規化したい場合は、このパラメータを選択します。正規化は、MARC 21、KORMARC、UNIMARC、CNMARC、およびDublin Coreの書誌レコードに適用できます。以下に挙げる標準仕様の正規化プロセスを使用するか、あるいはあなた自身の作成した正規化ルールでこれらのプロセスをカスタマイズすることによって正規化を行います：Marc21書誌の外部検索正規化、KORMARC 書誌の外部検索正規化、UNIMARC 書誌の外部検索正規化、CNMARCの外部検索正規化、またはQualified Dublin Core書誌のSRU検索正規化。</p>  <p>CNMARC書誌メタデータ設定プロファイルの正規化ルールの例</p> <p>提供される正規化ルールは、書誌レコードから次の情報を削除します：590ローカルメモ (MARC 21)、590ローカルメモ (KORMARC)、900ローカルフィールド (UNIMARC)、および300一般メモ (CNMARC)。詳細については、正規化ルールでの作業を参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>正規化処理が完了した後に強化プロセスが実行されているので、正規化処理は、強化によって追加されたフィールド</p>

パラメータ	説明
	<p>には影響しません。</p> <p>これらの正規化ルールでは、以下に挙げるDroolsファイル（タスクパラメータタブで指定）を使用します：drools/remove590.dslr、drools/remove900.dslrおよびdrools/remove300.dslr</p>  <p>Z39.50/SRU検索正規化ルールで正規化するCnmarc書誌からのDroolsファイルの例</p> <p>詳細については、正規化プロセスでの作業を参照してください。</p>
ユーザー名/パスワード	<p>（基本認証を使用して）SRU/SRW検索クエリを認証したい場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。SRU/SRW検索クエリがユーザー名とパスワードを提供しない場合（統合プロフィールでそれらを設定していた場合）、または誤ったユーザー名とパスワードを提供する場合、SRUリクエストに対する応答は、要求が認証されていないことを示します。</p> <p>Note</p> <p>ユーザー名とパスワードは、HTTPリクエストのAuthorizationヘッダーで送信する必要があります。詳細については、基本的なアクセス認証を参照してください。</p> <p>SRUサーバー統合プロフィールにユーザー名とパスワードを指定しない場合、SRU/SRW検索クエリは認証されません。</p>
外部検索からのレコードを抑制する	<p>このパラメータを選択して、外部検索から抑制からのタグ 外部システムに公開されます。</p>
	<p>所蔵オプション(ISO 20775)</p> <p>ISILコードは、SRU応答の所蔵オプションと連携するように設定する必要があります。設定情報のISILコードを参照してください。</p> <p>Note</p> <p>所蔵オプションは、統合が構成されている環境にのみ適用されます。例えばネットワークゾーンでは、ネットワークゾーンで管理されている 在庫の利用可能性のみが表示されます。メンバー機関の所蔵または利用可能性は表示されません。</p> <p>Note</p> <p>コミュニティゾーンからアクティブ化されたポートフォリオにはバグが一つあることがわかっています。これらのポートフォリ</p>

オが非シリアルと見なされる場合があります、したがって、SRU応答に、カバレッジとその他の関連情報が含まれないことがあります。

このパラメータを選択して、SRU ISO 20775所蔵スキーマを有効にします。利用可否計算オプションが表示されます。利用可否計算オプションから除外したいものがあれば、以下の選択肢から一つまたは複数のオプションを選択します：

- 書架にないアイテムを除外する
- リソース共有にリクエストできないアイテムを除外する
- 電子およびデジタル資源を除外する

HOLDING OPTIONS (ISO 20775)

Active

Availability Calculation Options:

Exclude Items Not On Shelf

Exclude Items Not Requestable For Resource Sharing

Exclude Electronics And Digital Resources

利用可否計算オプション

所蔵SRUを使用すると、クエリの目録の詳細を取得できます。以下のクエリ結果の例をご覧ください。

アクティブ

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<searchRetrieveResponse xmlns="http://www.loc.gov/z39.50-2001/sru" >
  <version>1.2</version>
  <numberOfRecords>28</numberOfRecords>
  <records>
    <record>
      <recordSchema>isohold</recordSchema>
      <recordPacking>xml</recordPacking>
      <recordData>
        <holdings xmlns="">
          <holding>...</holding>
          <holding>...</holding>
          <holding>
            <institutionIdentifier>
              <value>MAIN_CAMPUS</value>
              <typeOrSource>
                <text>ISIL</text>
              </typeOrSource>
            </institutionIdentifier>
            <physicalLocation>Main Reading Room</physicalLocation>
            <holdingStructured>
              <set>
                <label>all sets</label>
                <sublocation>ASIAN</sublocation>
                <shelfLocator>ABC 123 4444 AA</shelfLocator>
                <completeness>0</completeness>
              </set>
            </holdingStructured>
          </holding>
          <holding>
            <institutionIdentifier>
              <value>MAIN_CAMPUS</value>
              <typeOrSource>
                <text>ISIL</text>
              </typeOrSource>
            </institutionIdentifier>
            <physicalLocation>Main Reading Room</physicalLocation>
            <holdingStructured>
              <set>
                <label>all sets</label>
                <sublocation>ASIAN</sublocation>
                <shelfLocator>THP172</shelfLocator>
                <completeness>2</completeness>
                <enumerationAndChronology>
                  <startingEnumAndChronology>
                    <text>2005-2007</text>
                  </startingEnumAndChronology>
                </enumerationAndChronology>
              </set>
            </holdingStructured>
          </holding>
        </holdings>
      </recordData>
    </record>
  </records>
</searchRetrieveResponse>

```

パラメータ	説明
	クエリ結果の例
利用可否計算オプション	<p>以下のオプションを1つ以上選択して、検索結果で利用可能な目録として表示するものを特定します。検索結果には、アイテムの数（コピーも含む）と、このパラメータに対して選択したオプションによって決定される計算された利用可否数が表示されます（下図を参照）。次のオプションのいずれも選択されていない場合、クエリ結果は、すべてのアイテムが常に利用可能であると見なします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 書架にないアイテムを除外する - このオプションを選択すると、クエリ結果は書架にある目録のみを利用可能と見なします。 リソースシェアにリクエストできないアイテムを除外する - このオプションを選択すると、クエリ結果は、リソースシェアにリクエスト可能な目録のみを利用可能と見なします。 電子資源とデジタル資源を除外する（現在は使用不可） - この機能は今後のリリースで実装されます。 <div data-bbox="318 709 815 888" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <pre> <holdingSimple> <copiesSummary> <copiesCount>5</copiesCount> <status> <availableCount>2</availableCount> </status> </copiesSummary> </pre> </div> <p>SRUコピー情報</p>

7. 保存を選択します。

SRUサーバー統合プロファイルを保存した後、このプロファイルに対して次の行のアクションを使用できます：

- 編集
- ネットワークで管理 - このアクションは、ネットワークゾーンでのみ使用できます。ネットワーク管理の変更をメンバーに通知ジョブを使用して、この設定をメンバー機関に通知するには、このアクションを選択します。さらなる詳細については、[ネットワークゾーンの設定の一元管理](#)と[ネットワーク管理の変更をメンバーに通知](#)を参照してください。
- ネットワーク管理の停止 - このアクションは、ネットワークゾーンでのみ使用できます。ネットワーク管理の変更をメンバーに通知ジョブを使用中に、この設定のメンバー機関への通知を無効化したいときは、このアクションを選択します。さらなる詳細については、[ネットワークゾーンの設定の一元管理](#)と、[ネットワーク管理の変更をメンバーに通知](#)を参照してください。
- ネットワークからのリンク解除 - このアクションは、メンバー機関でのみ利用可能です。SRUサーバー統合プロファイルがメンバー機関に配布される時（つまり、統合プロファイルがネットワークにリンクされているとき）、メンバー機関はネットワークからのリンク解除アクションを選択して、統合プロファイルのネットワークゾーンのバージョンから接続解除し、ローカルで使用するために変更することができます。
- ジョブ履歴
- 削除